

Make your passion your mission
Shizuoka City Fire Bureau

情熱を使命に変える

静岡市消防局

SHIZUOKA CITY FIRE BUREAU

静岡市消防局が全国に誇る技術力・経験

山岳救助隊
Mountain Rescue

全国トップクラスの経験値とスキル

山岳遭難者の救出に当たるスペシャリストとして、専任の山岳救助隊を配置しています。赤石山脈（南アルプス）をはじめ、管内の山々の遭難者の救助活動に当たっています。装備の充実度だけでなく、隊員個々のスキル、経験値とどこをとっても**全国トップクラス**です。



道なき道のその先の命を救うために

山岳救助において困難を要するのは、「いかに早く遭難者を発見することができるか。」です。そのためには山を熟知し、冷静に周囲を観察することが必要です。私たち山岳救助隊は、遭難者の迅速な救出と隊員の安全の確保に努めるために、日々厳しい訓練を重ねています。


夏山の遭難者捜索活動

山岳救助隊 望月将悟 Trans Japan Alps Race 4連覇

日本海から太平洋までの日本アルプス415㎞を縦断する世界でも類を見ない過酷な山岳レースにおいて前人未到の記録で4連覇を達成しています。※ギネス世界記録保持者（東京マラソン40ポンド=18.1kg背負い完走　タイム3時間6分16秒）

終わりなき挑戦

自身の体験や体力と向き合い、山岳地帯特有の大自然との調和を図りつつ、状況に応じた的確な判断なくしてはTJARを完走することはできません。その経験が遭難者の迅速な救出と隊員の安全の確保に結び付いています。



火災原因調査
Fire Cause Investigation

火災原因を解明するわずかな手がかりを見落とすことがないよう検証を重ねています。

全国有数の設備とノウハウの蓄積



▶X線透過装置
焼損した製品等の内部を破壊せずに観察する装置

▶デジタルマイクロスコープ（電子顕微鏡）
出火原因となり得る微小な痕跡を最大2,000倍まで拡大可能な装置

▶ガスクロマトグラフ
火災現場で採取した灰や炭等に含まれる油分を特定する装置

原因究明を火災予防に変える

火災原因には様々な要因が想定され調査を行う際には、危険物・化学・電気等の幅広い専門知識と技術が求められます。様々な角度から考察を行い、考慮される火災原因の中から特定を行います。



職員派遣制度
Dispatch System

求められる人材育成とキャリアデザイン

職員の派遣体制を整え、職員の行政実務能力・政策形成能力の養成に加え、業務を円滑に進めていく上での人脈づくりにも努めています。

▶総務省消防庁・消防大学校・消防研究センター　▶静岡県・消防防災航空隊・消防学校　▶静岡市地域総務課　等

ALL for One ～使命は守ること～

総務省消防庁派遣

広域応援企画係長として緊急消防援助隊（大規模災害時に地元消防力だけでは対応が不十分な場合、全国から応援に駆けつける応援部隊）の運用事務をしています。能登半島地震や奥能登豪雨等の災害対応を経験し、被害の拡大を最小限に留めるため、平時から応援・受援体制の強化の必要性を実感しました。国民の生命を守るという全国の消防士の使命に応えるべく、体制強化に尽力しています。


消防庁長官レクチャー

充実の時間で広がる視野

消防研究センター派遣

消防研究センターは、わが国唯一の消防防災に関する総合研究機関です。中でも原因調査室は、「火災調査のプロフェッショナル」であり、社会的影響が大きい火災の調査や全国の消防本部の依頼により技術的支援を行っています。火災発生の原因特定が困難な事象の究明に努め、国民生活の安全・安心に繋げられるよう尽力しています。



・装備　～市民生活の安全を確かなものに～

消防航空隊
Air Rescue

空からの機動力を活かしたアプローチ

消防航空隊は、北は赤石山脈から南は駿河湾までの広大な範囲を管轄区域としています。活動は多岐にわたり、山岳遭難救助、林野火災における空中消火、海・川における救出活動等を展開しています。



いかなる災害にも立ち向かう

南アルプスの山岳救助では、救助隊員のピンポイントの投入・遭難者のピックアップを図り、救出時間の大幅な短縮を実現しています。上空の活動は常に危険が伴いますが、操縦士・整備士・救助隊員が手を取り合い、強固なチームワークでいかなる災害にも立ち向かいます。


静岡市消防ヘリコプター カワセミ

災害機動支援隊
Mobile Disaster Support

災害現場を俯瞰し、危険を察知し管理する



災害現場において、いち早く危険を察知し、情報共有することで活動隊の安全を確保しています。その他、複雑多様化する災害に対応するため、職員の知識・技術の向上を目的に育成指導を行っています。

危険な現場のリスクを管理

災害現場には多くの危険が潜んでいます。活動部隊とは別の視点から現場を俯瞰し、これまで培った経験と知見を基にいち早く危険を察知することで、災害現場におけるリスクを管理します。「事故ゼロ」が我々の使命です。



救急救命士
Emergency Medical Technician

救急救命士の知識と経験を救急隊以外の職域においても幅広く活かせる体制を確保しています。

一刻を争う状況で常に最善を尽くす

プロフェッショナルを目指して

救急隊

救急出動件数は増加の一途を辿り、救急隊員として求められるものは多くなっています。救命士の再教育制度等の機会を通じて、最新の知識と技術を吸収し、救急現場活動に活かせるよう努めています。



自らの提案が形となる

救急課

救急講習や救急フェア、隊員のスキルアップ研修等の企画立案を行っています。現場活動の経験を活かし、形にしていくことができる現在の業務にとてもやりがいを感じています。



職域の幅を狭めないこと

高度救助隊

災害現場では、救助隊員でしか傷病者に接触できない状況もあります。臆することなく、適切な初期観察・処置が実施できるのは、救命士としての知識と経験があるからです。



信頼し合える仲間、ここに集う

消防隊

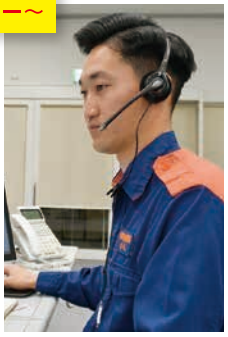
重症の傷病者の場合には、救急隊の支援として消防隊も出動することがあります。高度な救命処置が求められる救急現場では、救命士の知識と経験を有する消防隊の連携がより高い効果を発揮します。



救命の連鎖～命のリレー～

指令課

119番通報から救急隊到着までの数分間に応急手当を開始できるかは、救命効果に大きな影響を与えます。通報者の動揺を抑え、応急手当がいち早く実施できるよう適切な指導が求められます。



様々な経験が生涯の糧になる

消防学校教官

救命士の知識は、学生への健康指導、訓練中の怪我や体調不良者への的確な対応につながります。救急に係る教育科目を担当する際は、病院や医師との連絡調整に救命士の経験が活かされています。



静岡市消防局が有する災害対応のスペシ

01 特別高度救助隊・高度救助隊







SSR Shizuoka Super Rescue

特別高度救助隊（通称:SSR）は人命救助の専任隊員から選抜された隊員のみで構成しています。車両・機械事故等の救助資機材、大規模地震災害等で活用する資機材のほか、NBC災害・特殊災害に対応する車両を運用します。また、高度救助隊は大規模地震災害等において、災害対応用重機を活用した道路啓開・瓦礫除去等の任務を担っています。

[資機材・車両紹介]

▶マット式エアジャッキ



▶油圧式救助器具





▶電磁波探査装置



▶特殊災害対応車



▶二酸化炭素探査装置



▶特別高度工作車（大型ブロアー搭載）



今そこにある命を救うために

災害現場では、常に最前線の活動を強いられるため、日々厳しく過酷な訓練に隊員相互、切磋琢磨し取り組んでいます。凄惨な災害現場に立ち向かえるのは、他でもなく「人命救助最優先」を隊員共通の認識として捉えているからです。静岡市消防局は、救助隊・特別救助隊・高度救助隊・特別高度救助隊を配置しているため、訓練を積み重ね、より高度な知識と技術を身に付けることでキャリアアップすることができます。



02 水難救助隊



冷静な判断を成功につなげる

海は元より、河川・湖沼まで、人命に係わるあらゆる水の事故に出動します。現場では時間との戦いになるため、最善の活動の選択が瞬時に求められます。水中という特殊な環境下においても冷静で的確な判断を行うことが不可欠であり、様々な状況に即応すべく日々訓練を重ねています。



水難事故の救助に当たるスペシャリストとして、専任の水難救助隊を配置しています。小型船舶・水上オートバイ・水中スクーター・潜水資機材等を用いて活動します。各地区の予選を突破した国内の救助隊員が集う全国消防救助技術大会への出場者も輩出しています。

▶複合検索

水中の行方不明者の捜索を想定し、スノーケリングで障害物を突破しながら、水中に沈められたリングを引き上げるタイムを競います。



▶溺者救助

水面で溺れている人の救助を想定し、浮環を投下後、これに要救助者を捕まらせ、ロープで引き上げるまでのタイムを競います。



ャリスト　～安心して暮らせるまちを目指して～

指揮隊 03



消防活動を統括する司令塔

消防活動では、指揮者の意図を各部隊が的確に把握し実践しなければなりません。指揮者は、複数の部隊が効率的に消防活動を展開できるよう災害実態を把握し、被害の拡大抑制・迅速な人命救助・活動全般の安全管理等を統括します。指揮者を補佐し、業務を分担するスタッフとして指揮隊を編成しています。



消防隊 04



放水こそが消防士の真髄

迫りくる炎を水で制圧し、かけがえのない命や大切な財産を守ることが消防の使命です。放水は消火だけではなく、遮熱・排煙等の効果もあり円滑な任務遂行には欠かせません。厳しい訓練の積み重ねにより、失敗の許されない火災現場に真正面から立ち向かうことができるのです。



はしご隊 05



地上40m超の機動力

高層ビルや高架上の災害においては、40mを超えるはしご車の機動力を駆使し、逃げ遅れた人の救出や高所放水を行います。また、はしごをマイナス角度にも伸ばすことが可能で、岸壁のような場所においては、はしご車よりも低い場所の救助活動にも対応します。



消防音楽隊 06



消防と市民をつなぐ音の架け橋

消防音楽隊は、市民の防火・防災意識の普及啓発を目的として年間30回程度、各種イベント・式典等で演奏し、音楽を通じて市民とのコミュニケーションを図っています。ほとんどの隊員が、入隊するまで楽器を手にしたことがない者ばかりで、消防業務の傍ら楽器の練習に励んでいます。



[特殊車両紹介]

▶ドラゴンハイパー・コマンドユニット(DRAGON HYPER COMMAND UNIT)

最大毎分8,000ℓの大容量放水で、石油コンビナート災害等に対応します。



指揮車・化学消防ポンプ車を加えた7台でユニットを編成

▶拠点機能形成車

大規模災害発生時に被災地での部隊活動を支援するため、100人規模の隊員が宿営できる資機材を積載しているほか、荷室の拡幅により、車内に指揮本部を設置することもできます。









静岡市消防局は、あらゆる危機から市民の「いのち」と「くらし」を守り、安全・安心に暮らせるまちの実現に向け、不断の備えを万全にし、より一層信頼される組織の構築に向けて、全職員が一丸となって邁進していきます。

静岡市

静岡市消防局の主な施設と概要

警防本部室

市民の生命と財産を大規模災害から守るために

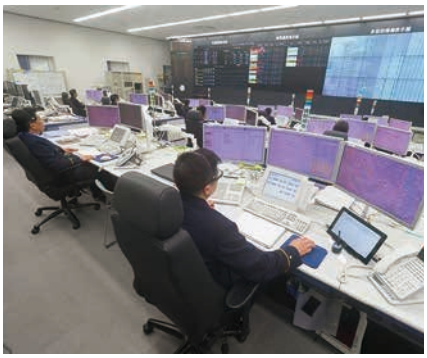
地震・台風等により大規模な災害が発生した際に被害状況を把握し、規模に応じた消防隊等の出動態勢を総合的に決定する機能を有しています。



消防指令センター

1秒でも早く駆けつけるための迅速な出動体制の確立

通報者から正確な情報を収集し消防隊・救急隊等へ迅速な出動指令を行うことが、災害現場への到着時間の短縮を可能にします。



階級と主な職位


消防司監［消防局長］


消防正監［次長・部長・担当部長・署長］


消防監［参与・署長・課長］


消防司令長［大隊長・副署長・参事・課長補佐］


消防司令［小隊長・主幹・係長・副主幹］


消防司令補［隊員・主査］


消防士長［機関員・隊員・主任］


消防士［隊員］

機関員:消防車の運転、車載ポンプの操作を行う。
昇任は試験や選考を通じた実力主義により、キャリアアップすることができます。

交替制勤務の1日


大交替


車両・資機材点検


事務処理・昼食


訓練


訓練指導・立入検査


夕食・事務処理・仮眠


朝食・申し送り



静岡市消防局の管轄ってこんなところ

温暖な気候に恵まれ、北は3,000m級の山々が連なる南アルプスから、南は日本最深の駿河湾に至るまで、豊かな自然環境を有しながら、独自の文化と産業を育み、日本の中枢都市として発展を続けてきました。歴史的な観光名所やアクティビティを求めて多くの観光客が訪れます。


静岡市街地


大井川鐵道



静波サーフスタジアム


小山城


奥大井湖上駅

消防は女性が輝けるフィールドだ
～求められている 消防女子力～

Female Firefighters

単に女性消防士を増やすだけでなく、女性が長く働けるような制度を整え、制度を活用しやすい環境づくりと女性消防士の職域の確保にも努めています。


待機スペース


浴 室


トイレ


洗面脱衣所


階段ホール

ライフステージに応じた働き方



小学生2人の子育てに奮闘中の毎日です。育児休業から復帰し、今に至るまで家庭環境に応じた様々な支援制度を活用し、自分らしく無理なく働くことができています。職場の上司や同僚・家族の協力を得て消防大学校に入校し、高度な知識を身に付けることもできました。人それぞれ、出産・育児・介護等、ライフステージには、様々な変化がありますが、性別や年齢にかかわらず誰もが安心して働き続けられる環境づくりが進められています。



子供達のかっこいいお母さんに



生まれ育った静岡市には、家族をはじめ大切な人たちが暮らしています。そんな静岡市を守る力になりたいと思い消防の道に進みました。自分も家庭を持ち、その気持ちは一層増しました。現在は、夫の仕事への理解と協力、職場の上司・同僚のサポートのおかげで、日勤の予防業務に携わっています。今後は子供達の成長を見守りつつ、消防隊として現場復帰を目指しています。子供達に「お母さんかっこいい!」と思ってもらえるよう頑張っています。



憧れを現実に



学生時代に見た女性消防士に憧れ、消防士になることを決意しました。現場では、消火活動や救助活動の他にも、被害に遭われた方の心のケアを行う場面も多く、女性として優しく接し、少しでも安心してもらえるよう努めています。消防士としての経験は浅いですが、たくさんのことを学び、訓練し、一人でも多くの命を救えるような存在を目指しています。



子育て施設も充実

子供の笑顔があふれるまち。静岡市には、子育ての「いいね!」がいっぱいです。

静岡科学館 る・く・る
遊びながら科学の「ふしぎ」を発見、「みる」「きく」「さわる」をキーワードに発見する喜びと楽しさにあふれる科学館です。





静岡市 こどもクリエイティブタウンま・あ・る
子ども達が仕事体験を通して、自主性と創造性を育み、経済の仕組みや地域産業を学ぶ施設。「こどもバザール」では、作った商品を売って稼いだお金(疑似通貨)で買い物を楽しめます。

日本平動物園
ホッキョクグマをはじめとした猛獣たちを様々な角度から観察できる『猛獣館299』や、国内最大級のフライングケージ『フライングメガドーム』など魅力ある施設が充実しています。





広野海岸公園
海風を感じながら、大人気の帆船アスレチック・水遊びができる公園。静岡市には、遊具いっぱいの個性あふれる公園が充実しています。思い立ったその日に海や川へ行くこともできます。



静岡市消防局

SHIZUOKA CITY FIRE BUREAU

〒422-8074 静岡県静岡市駿河区南八幡町10番30号
TEL . 054-280-0132

静岡市消防局ホームページ

静岡市消防局 Facebook

静岡市職員採用ウェブサイト